

鳥取市 人権啓発ビデオ～職場の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
J7	セクシュアル・ハラスメント ～しない させない 許さない～	DVD	24分	平成18 (2006)年	字幕 ちらし	この作品では、身体に触ったり、いやらしい話をするなどの従来型のセクハラは、取り上げていません。一歩進んだセクハラ防止ビデオとして活用してもらえるよう企画しました。
J9	パワー・ハラスメント ～そのときあなたは…～	DVD	26分	平成20 (2008)年	字幕	パワー・ハラスメントの被害を受けた人たちへのインタビューと事例にもとづくドラマにより、パワー・ハラスメントをわかりやすく解説しています。セクシュアル・ハラスメントもパワー・ハラスメントも権力の濫用であることに変わりありません。
J11	内定者からの手紙 ～公正な採用選考のために～	DVD	26分	平成21 (2009)年	字幕 ちらし	公正な採用選考の基本となる人権尊重の意識が、採用選考のプロセスのすみずみまで、さらに会社全体まで広くいきわたることの重要性をテーマにストーリーを構成しています。
J13 J34	私が私らしくあるために ～職場のコミュニケーションと人権～	DVD	26分	平成21 (2009)年	字幕 ちらし 解説書	主人公は、契約社員の渡辺直美。かつては、この会社の正社員でしたが、契約社員として職場復帰しています。渡辺は、一歩引いた視点で、自分の気づいたことを職場の一人一人に、それとなく伝えていきます。 この職場は、皆それぞれが頑張っていますが、忙しさのあまり、相手の立場や状況への配慮、想像力が欠けてしまっています。その結果、相互の思惑の些細な食い違いをうみ、職場がバラバラになっていき、大事なプレゼンも失敗してしまいます。
J14	職場いじめは許さない！ ～職場のモラル・ハラスメント～	DVD	19分	平成22 (2010)年	字幕 ちらし	正一の職場では、部下の飯田守が交際を断われた妻越友美に仕事にかこつけて、いびりやいじめを行っていた。妻越は正一に相談するが、妻への人権意識に欠けた正一は、職場でよくあることだと妻越の苦しみを受け止めない。やがて、妻越は睡眠導入剤を大量に飲んでしまう。労務担当者から正一は、コンプライアンスへの無理解、女性への人権意識の低さを自覚させられる……。
J15 J35	人権のヒント 職場編 ～気づきのためのエピソード集～	DVD	22分	平成22 (2010)年	字幕 ちらし	ごく普通の会社員の日常を描きながら、日頃は気づかない「人権のヒント」を探り、職場のなかで私たちが考えるべき人権問題について提起する内容。
J16 J38	くらしの中の人権問題 ～会社編～	DVD	20分	平成23 (2011)年	字幕 ちらし	会社で女性社員に、不愉快になるような発言をしてしまう部長。それはセクシュアルハラスメント？そして、仕事のミスを厳しく叱られる若手社員は、出社ができなくなります。それは、パワーハラスメント？両者の言い分には、食い違いがあります。あなたはどうか考えますか？

鳥取市 人権啓発ビデオ～職場の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
J17	心のケアと人権 ～職場編～	DVD	22分	平成23 (2011)年	字幕 ちらし	近年、ストレスなどにより心の健康を損なう人が増えており、うつ病に罹患する人も増加しています。こうした病気は、適切な対処をすることにより改善していくのですが、家族や職場など周囲が正しく心の病について理解していないと、差別や偏見のために適切な治療ができず、症状を悪化させ、転職を余儀なくされたり、場合によっては自死につながることもなってしまいます。
J18	心のケアと人権 ～家庭編～	DVD	18分	平成23 (2011)年	字幕 ちらし	近年、ストレスなどにより心の健康を損なう人が増えており、うつ病に罹患する人も増加しています。こうした病気は、適切な対処をすることにより改善していくのですが、家族や職場など周囲が正しく心の病について理解していないと、差別や偏見のために適切な治療ができず、症状を悪化させ、転職を余儀なくされたり、場合によっては自死につながることもなってしまいます。
J19	職場の日常から考えるパワーハラスメント	DVD	28分	平成24 (2012)年	字幕 ちらし	本作品では報告書の内容も踏まえ、とある企業の人事部に飛び込む様々な問題を、ドラマスタイルで描いていきます。 エピソード1 パワハラのはじめるところ エピソード2 見えない・気づかないパワハラ エピソード3 誰もがパワーを持っている エピソード4 パワハラのない職場を目指して
J20 J40	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権1 ～ハラスメントの視点から～	DVD	23分	平成25 (2013)年	字幕 解説書	働きやすい職場環境をつくるには、社員それぞれがお互いの立場を理解し尊重しあい、適切にコミュニケーションをとっていく必要があります。この教材は、職場の身近なコミュニケーション不全がハラスメントの問題につながっていくことをドラマ形式でわかりやすく伝え、どうすれば健全な職場環境を育てることができるか皆で考えていくための教材です。
J21 J41	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権2 ～相手の立場で考える～	DVD	23分	平成25 (2013)年	字幕 解説書	この教材では、職場で体験しがちな身近なエピソードを切り取り、それぞれの異なる立場の登場人物にスポットをあて、お互いを尊重するコミュニケーションの大切さを考えていきます。それぞれのエピソードでは、お互い悪意はないのにコミュニケーションの不全から職場環境が悪化する状況になります。自分も相手も大切にすることをコミュニケーションとはどんなものなのかを考えてみましょう。
J22	新・人権入門	DVD	25分	平成26 (2014)年	字幕 解説書	職場の人権について考えるのが難しい時代です。共に働く人間の年代や性別、国籍も多様化が進み、メールやSNSの発達などコミュニケーションをとる方法も変化しています。そういった時代の変遷の中で、分かりやすいセクハラやパワハラは減ったかもしれませんが、「一つの人権課題」を「一つの人権ワード」だけでは括れなくなっているのです。このDVDでは、企業の人事担当者から取材した実際の出来事を16のショートドラマとして構成しています。

鳥取市 人権啓発ビデオ～職場の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
J23	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅰ ハラスメントを生まないために	DVD	25分	平成27 (2015)年	字幕 解説書	本作は様々なハラスメント事例を再現したドラマパートと、その事例について登場人物たちが振り返りながら、ディスカッションしていくパートの2部構成になっています。登場人物たちの意見交換を通して、視聴者も様々な視点でハラスメントへの認識を深めながら、自らの日頃の言動を振り返りやすい構成になっています。
J24	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅱ 個に向き合い、伝え合う	DVD	25分	平成27 (2015)年	字幕 解説書	外国人社員や障がいのある社員の増加等、あらゆる場面で職場の多様化が進む現代社会。企業で働くメンバーが、相手の“多様性”(個)に目を向け、それを尊重するコミュニケーションをとることが必要となってきています。相手の価値観や思いに目を向け、それを意識することで円滑で働きがいのある職場になるのです。企業の多様化が原因で発生する人権課題とその解決のヒントを分かりやすく描くドラマ教材です。
J25	コール&レスポンス -ハラスメント-	DVD	24分	平成29 (2017)年	字幕 副音声 解説書	「コール&レスポンス」とは、ジャズのセッションでプレイヤー同士が呼応しあうこと、また、コンサート会場で、プレイヤーと観客が呼応しあうことを言います。 ハラスメントを防ぐことは人権尊重の上で重要な課題です。しかし、相手の心を知ることはできません。ハラスメントを防ぐためには、十分なコミュニケーションをとると同時に、相手が言いにくい立場にいる場合は、相手の心を十分に推し量り、思いを聞いてみるのが大切です。また、ハラスメントを受けていると感じたら、たとえ小さくても声をあげ、それを相手に伝えることも大切です。この作品では、職場におけるコミュニケーションの重要性を、「コール&レスポンス」ちうキーワードに仮託して考えていきます。
J26	仕事と介護の両立のために ワークライフバランス	DVD	46分	平成28 (2016)年	利用ガイ ド	介護は今後、多くの社員が直面する課題です。介護離職を防ぐためには、社員に介護に対する事前の心構えや介護サービス等に関する基礎的な知識を持ってもらうことが重要です。 本DVDは、介護に直面した社員のドラマを通じて介護に必要な情報源を提供することで、介護を自分だけで担うのではなく、介護サービスを利用してどのようにマネジメントしていくかについて考えてもらう内容です。ドラマ編と解説編に分かれていますので、ドラマ編の後にディスカッションをすることで、さらに理解が深まります。
J27 J28	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	DVD	40分	平成29 (2017)年	字幕 副音声、活 用の手引	

鳥取市 人権啓発ビデオ～職場の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
J29	なくそう！職場に潜む心の病 ～人権尊重の基本に傾聴がある～	DVD	24分	平成29 (2017)年	字幕 チラシ	職場での人間関係に悩む人は少なくありません。その背景として考えられるのが、従業員一人ひとりの仕事量の増加、スピード化、そして成果主義がストレス源となっていることです。特に、職場の活力となるはずの30代が、上司と若手を繋ぐ世代であるが故に精神的、肉体的に追い込まれています。そこで、この作品では、傾聴法を取り入れて働きやすい職場に変えていった3つの事例を紹介し、職場の人間関係を良くするためには、「いかに話せるか」よりも「いかに聞けるか(傾聴できるか)」の方が、重要であることを訴えます。
J30	新型うつ	DVD	23分	平成24 (2012)年	チラシ	会社に行こうとすると体調が悪くなるのに、会社の外では元気。海外旅行にも出かけてしまう。これまでの「うつ」の常識が通用しない「新型うつ」が登場しています。「単なるわがまま」だと頭ごなしに叱責しても、問題は悪化するだけです。管理者がこれだけは知っておきたい、その特徴と対応方法をコンパクトに解説します。
J32	ストップ！ハラスメント ～ハラスメントのない職場づくりのために～	DVD	77分	平成19 (2007)年		皆さんの職場にはセクハラやパワハラといったハラスメントはありますか？もし、いわゆるハラスメントの現場に居合わせた場合、あなたはどのようにしていますか？もしかして『見てみぬふりをしてる』などということはないでしょうか。このビデオは、ハラスメントのない職場を作るために、私たちひとりひとりが当事者であるという前提にたって、私たちが日々の仕事の中でどのようなことをしたらよいかを探っていきます。
J33	メンタルヘルスと人権 ～あなたの心の声を聞いていますか～	DVD	30分	平成21 (2009)年		ある商品製造会社で働く30歳の堺は、どこにでもいる会社員です。無遅刻無欠勤だった彼が日々の過重な業務とパワー・ハラスメントによって疲れていきます。妻とのありふれた日々にも亀裂がうまれ、やがてうつ病へ、そして回復期から職場復帰まで。うつ病の彼を取り巻く人々、上司・同僚・家族と当事者本人の視点から考える問題提起型ドラマです。
J36	今、地域社会と職場の人権は！	DVD	36分	平成23 (2011)年		皆がいきいきと安全で安心できる社会の取り組み、共に支え合う「共生社会」の実現を目指し、「超高齢社会」「女性と子育て」「パワハラ、セクハラ」「同和問題」に視点をあて、地域、職場の問題を考える。
J37	それぞれの立場 それぞれのきもち 職場のダイバーシティと人権	DVD	32分	平成23 (2011)年		年代や経験、価値観の異なる職場のメンバーが、それぞれどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って、問題解決のヒントを示していく。

鳥取市 人権啓発ビデオ～職場の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
J39	パワーハラスメントを考える ①パワーハラを正しく理解するために	DVD	28分	平成25 (2013)年		上司だけでなく、誰もがパワハラは加害者になりえる現在、何がパワハラを生み、どのような行為がパワハラになるのか、3つの事例から職場全体でパワハラを正しく理解する基礎的教材。 <主な内容> ●事例1「根性論を振りかざす上司」 ●事例2「組織からはじき出された上司」 ●事例3「同僚からのパワハラ」
J42	なぜ企業に人権啓発が必要なのか	DVD	22分	平成26 (2014)年		「企業にとって人権啓発とは？」 企業にとっての人権啓発とは何なのでしょう？具体的な人権課題を並べてみましょう。頭では、差別や偏見なく、人権に配慮して行動しなければいけないと知っているとは思いますが、では、自分の日々の業務の中で、何ができるのでしょうか。 この教材は、人権啓発を考えるためのヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えていただくための素材としてご活用いただけるよう制作しました。
J43	企業活動に人権的視点を CSRで会社が変わる・社会が変わる	DVD	103分	平成27 (2015)年		このビデオは、経済産業省中小企業庁の委託事業として、CSR（企業の社会的責任）や人権問題に関する企業の取組を啓発推進することを目的に、平成14年度から平成25年度に各地で開催した「『企業の社会的責任と人権』セミナー」において、CSRと人権課題に積極的に取り組まれている企業に発表いただいた実践事例の中から、企業にとって関心の高いテーマに関する事例を分かりやすくまとめたものです。 各事例では、協力いただいた企業の経営者や従業員などにおける実際の取組の様子や地域の人々の声などを紹介しています。また、専門家による各事例の取組のポイントやCSRと人権課題に関する解説も収録しています。
J44	わからないから、確かめ合うーコミュニケーションー	DVD	29分	平成30 (2018)年		昨今、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、不当な差別など、企業が関わる様々な「人権問題」がメディア等で大きく取り上げられます。こうした人権問題への対応は、時として、企業の価値に大きく関わります。そのため、起業の社会的責任(CSR)や社会的責任投資(SRI)に対する関心の高まりと相まって、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に採り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。今作、「わからないから、確かめ合う」では、ハラスメントや差別的取り扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを取り上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニケーション」を提示しています。誰もが暮らしやすい社会を目指して、一歩踏み出しましょう。
J48	採用への一歩 ー障害者への採用面接のポイントー	DVD	30分			障害者を雇用する際最初の一步となる面接時の注意点、またともに働くようになったとき職場に必要な合理的な配慮について、脳性マヒ、視覚障害、聴覚障害、知的障害などそれぞれの障害の特性に応じた説明と、実際に現在働いている方の紹介、採用に携った会社の担当者の意見を紹介しながらポイントを解説します。

鳥取市 人権啓発ビデオ～職場の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
J49	企業と人権シリーズ第3弾 「外国人労働者問題から多民族共生を考える」	DVD	32分	平成19 (2007)年		企業が果たすべき社会的責任、それは『人権』『労働基準』『環境』 企業と労働者の双方から描いたドキュメンタリー
J51	ハラスメント対策は「初期対応」で決まる！ 第1巻:リーダー・管理職、経営層に必須の初期対応力	DVD	31分	平成30 (2018)年	ちらし 理解度テ スト、利 用ガイド	ハラスメントの被害者から訴えがあった時、ハラスメント不祥事が外部に発覚した時に初期段階でリーダー・管理職、経営層が対応を誤ると大きな事件に発展する。 最善の対応法をドラマ演出で解説する映像コンテンツ。 ■ドラマ編 ■解説編 付録:①理解度テスト ②利用ガイド
J52	ハラスメント対策は「初期対応」で決まる！ 第2巻:被害に遭わない対応法、遭った時の相談方法	DVD	28分	平成30 (2018)年	ちらし 理解度テ スト、利 用ガイド	ハラスメントに巻き込まれない対応法と被害に遭った時、誰に、どのように相談をするべきかをドラマ演出で解説する映像コンテンツ。 ■ドラマ編 ■解説編 付録:①理解度テスト ②利用ガイド
J53	マタニティハラスメントから考える職場の人権	DVD	31分	平成29 (2017)年	字幕 概要説明 書	女性の社会進出が進み、その活躍の場は、幅広い領域、職種にわたっています。国もまた、男女共同参画社会の実現や少子化対策のため男女雇用機会均等法や育児・介護休業法などの法律を整備してきました。しかし最近の調査では、マタニティハラスメントの問題が明らかになっています。本来喜ばしいことであるはずの“妊娠・出産”をめぐるなぜ、同じ職場で働くもの同士、対立するような状況が生まれてしまうのか。男性にとっても女性にとっても働きやすい職場づくりを一緒に考えてみましょう。
J54	パワハラのない 風通しの良い職場をめざして ～ハラスメントを生まない職場のコミュニケーション～	DVD	34分	令和2 (2020)年	字幕 概要説明 書	公的機関への「いじめ・嫌がらせ」の相談件数が増え続ける中、パワハラ防止の法制化を柱とした女性活躍・ハラスメント規制法が施行されました。事業主はこれまで以上にパワハラやハラスメント防止のための措置を強化しなければなりません。一方、最近ではすぐにパワハラと言われかねないような風潮に疑問を感じている方もいらっしゃるかもしれません。大切なのは、何がパワハラにあたるのか、管理職と一般社員が同じ認識を共有することです。この教材では、職場の多様性を尊重し、ハラスメントのない風通しの良い職場を実現するために、望ましいコミュニケーションの方法をご紹介します。
J56	無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)が招くパワーハラスメント	DVD	26分	令和元年 (2019)年	字幕 ワーク シート	指導のつもりがパワーハラスメントになってしまった。その要因として、相手を一方的に判断してしまう無意識の偏見があります。本作品は、自分の中に無意識の偏見があると気づくことで、パワーハラスメントの予防につながることを目的とします。
J57	アサーティブな対応で防ぐグレーゾーンのパワーハラスメント	DVD	24分	令和元年 (2019)年	字幕 手引き	他者も自分も大切にすることをコミュニケーションの方法である「アサーティブ」により、伝え方や受け止め方を変えることで、人間関係の不和の予防・解決を目指します。各事例を用いて、実践的にアサーティブなコミュニケーションについて学ぶことができます。

鳥取市 人権啓発ビデオ～職場の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
J58	アサーティブな対応で防ぐグレーゾーンのセクシャルハラスメント	DVD	20分	令和元年 (2019)年	字幕 手引き	他者も自分も大切にするコミュニケーションの方法である「アサーティブ」により、伝え方や受け止め方を変えることで、人間関係の不和の予防・解決を目指します。各事例を用いて、実践的にアサーティブなコミュニケーションについて学ぶことが出来ます。
J59	よかったら“想い”を聴かせて ～自分も相手も大切にするために～	DVD	29分	令和4 (2022)年	字幕・副 音声 チラシ、 解説書、 ワーク シート	会社の川柳同好会に所属する七海。ある日のお題に選ばれたのは「人権」。所属も年齢もバラバラな同好会の面々は、何かヒントになるかもと、職場の人間関係で印象に残っているエピソードを話し合うことに…。ハラスメントをはじめ、色々な性、外国人、障がい者、働き方、部落差別など、職場における6つの人権を切り口に、お互いを大切にするコミュニケーションを探っていきます。
J60	小さな歩みを見つけよう ～職場の人権 気づきポイント集～	DVD	24分	令和3 (2021)年	字幕・副 音声 チラシ、 解説書、 ワーク シート	舞台はとある会社の人権啓発室。メンバーは社内外の取材をもとに8つの再現ドラマを作り、社内特設サイトで公開。社内のチャットツールを通して集まった感想コメントを受けて、多様な人権への気づきが生まれていく。職場での働き方がますます多様になってきている今、“仲間と共に自分らしく働く”ためのヒントを提案します。
J61	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	DVD	13～35分	令和4 (2022)年	字幕・副 音声	R4年度法務省企画DVD。 今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、取引先・顧客・消費者・地域住民など「事業に関わるすべての人」の人権を尊重することが求められています。ドラマやCG、解説などで、「ビジネスと人権」の取組を進めるヒントを紹介します。
J62	誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ① 心をつなぐ、はじめの一步	DVD	26分	令和5 (2023)年	字幕・副 音声 解説書・ ワーク シート・ チラシ	職場におけるさまざまな人権課題を切り口に、人は価値観や背景など一人ひとり違うということを理解し、互いを認めて尊重する気持ちの大切さを学んでいきます。職場の誰ひとり取り残さないために、さまざまな人権課題を自分事としてとらえ、誰もが生き生きと働くためにはどういったコミュニケーションが必要なのか？ドラマを通して「心をつなぐ、はじめの一步」を踏み出すヒントを与える映像教材です。
J63	アンコンシャス・バイアスをなくそう 無意識の偏見のない誰もが安心して働ける職場をめざして	DVD	33分	令和4 (2022)年	字幕	アンコンシャス・バイアスという言葉をご存じでしょうか。「無意識の偏見」「無意識の思い込み」といって、性別など人の属性に関して自分では気づかないうちにとってしまう、偏った考え方やものの見方のことを指します。アンコンシャス・バイアスは、社会心理学の分野で研究が進み、多様性の推進やハラスメント防止に欠かせないキーワードとして注目されています。なぜ私たちは知らず知らずのうちに偏見や思い込みをもってしまうのか、職場でアンコンシャス・バイアスを取り除くためにできることはなにか。そのポイントを紹介しています。